

大学名	筑波大学		
University	University of Tsukuba		
学部/研究科	人間系 感性認知脳科学専攻		
Faculty/Department	Disability Sciences, Cognition and Brain Science Faculty of Human Sciences		
研究指導者	宇野 彰	職名	教授
Research Advisor	Akira Uno	Position	Professor
帰国留学生	パク ヒョンリン		
Former International Student	Park Hyunrin		
派遣期間	2014年7月22日 - 2014年7月28日 (7日間)		
Period of Stay	7 days (July 28,2014 - July 22,2014)		

<帰国留学生プロフィール/Profile>

国籍	韓国
Nationality	South Korea
所属機関	光州大学
Affiliation	Gwangju University
現在の職名	言語聴覚療法学科 助教授
Position	Assistant Professor
研究分野	障害科学(学習障害:発達性読み書き障害)
Major Field	Speech-Language pathology



パク ヒョンリン/Hyunrin Park  
Photo title (Japanese/English)

<研究指導者からの報告/Research Advisor Report>

<b>①研究指導概要 / Outline of Research Guidance</b>
<p>・約1年半前に完成させた博士論文の一部を国際ジャーナルに投稿するために、加筆修正し、原著論文として完成させることを目的とした。初日に全体の方針を打ち合せ、2日目に「方法と結果」、3日目に「考察」、4日目に「はじめに」、5日目はセミナーを優先させ、6日目には「文献」や「カバーレター」を含めた全体に関して、そして7日目(最終日)には、英語の校正業者に提出することができた。</p>
<b>②研究指導の成果 / Results of Research Guidance</b>
<p>・目的は、約1年前に完成させた博士論文の一部を英文ジャーナル誌向けに投稿できるように加筆修正し完成させることである。光州大学に到着したその日から研究指導を毎日実施し、帰国日である最終日も空港で指導を行い完成させることができた。空港から英文校正を行うべく、校正業者にe-mailにて原稿を送った。目的は達成されたと考えられる。</p>
<b>③訪問大学等での学術交流 / Scholarly Exchanges Done at Universities Visited, etc.</b>
<p>・セミナーを帰国留学生に運営してもらい開催した。配布資料を添付した。2時間半のセミナーの内訳は私の1時間の講演と2人の韓国人研究者の発表であった。ソウルから数時間かけてわざわざいらした研究者も数人いた。合計20人位の参加者であった。私の講演では我が国の発達性ディスレクシアに関する定義、出現頻度、診断評価法、使用している検査、トレーニング手法などについて英語で概説した。セミナーの後、懇親会にて各大学やそれぞれの国における事情の紹介や意見交換を行った。また、訪問大学の言語聴覚療法学科の学科長をしている帰国留学生との対談にて、毎年、学生向けの特別講義もしくは研究者向けのセミナーを実施していく方針がたてられた。</p>

<帰国留学生からの報告/Former International Student Report>

①研究指導の成果 / Results of Research Guidance

韓国語読み書き発達に関する横断研究の論文を、指導期間中、英語でまとめ、現在ジャーナルに投稿するための前段階として校閲作業を行っている。また、セミナー開催を通して20名以上の研究者が参加し、交流を深むことで、これからの活発な日韓交流を期待できる。

②今後の計画 / Further Research Plan

指導期間中、仕上げた論文をアメリカのジャーナルに投稿する予定である。また、研究期間中、次の論文の計画を立てており、そのため研究交流も行う予定である。

③本事業に対する意見・感想等 / Your general impression and opinion about the Follow-up Research Guidance

本事業は、研究成果や日韓の交流のために非常に良いチャンスであった。



□ 研究セミナーの風景 / Scene of seminar with students and teachers  
Photo title (Japanese/English)



□ 研究者との交流会 / Meeting with researchers  
Photo title (Japanese/English)